

一、戦前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

敵輸送船團新ニビアク島ニ到着シアリ、敵機「オスネク」附近ニ対スル爆撃ハ相當頻數ニナリ、戦隊ハ海軍戦隊ト共ニビアク島周辺ノ敵機ヲ攻撃スルニ決ス

二、戦中ノ影響ヲ及メル氣象状況

敵地附近雨雲量一〇雲高三五〇。視度ニ料ニシテ、戦場進入頗ル困難ナリ

三、戦中経過ノ概要

ハ、不達セル命令

飛三戦作命第十號

飛行第二十四戦隊命令

六月二日。八〇〇
エフマン

一、戦隊ハ海軍戦隊ト協同シ、ビアク島周辺ノ敵機ヲ索メテ攻撃セントス

二、庄司大尉以下十六名ハ、九〇〇エフマン飛行場ヨリ發ガマテ飛行場ニテ

攻撃ヲ準備スベシ

三、行動豫定ハ如シ

ノ發進

一三〇〇

2. エフマン上空を飛行し、隊員集合

3. 終路 サマテ ↓ コオル ↓ マノクワリ ↓ ビアク島

4. 歸還 ビアク島

戦隊長 田代少佐

下達法

報告先

2. 出動編組

下齊藤伍長

下田中伍長

下吉峯伍長

下表口軍曹

下庄司大尉

下佐原少尉

下池田中尉

下小倉准尉

下石川曹長

下西並曹長

下藤井軍曹

下奈良崎曹長

下新本軍曹

下中村伍長

下山本軍曹

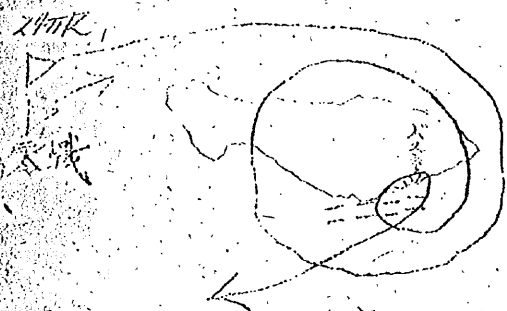
3. 交戦セシ彼我兵力

敵 ナシ

我方 一式戦闘機一二機

3 行動概要

一三〇。サマテ飛行場離陸機共ニビアク島ニ向フビアク島北方進入位置ニ
 着ニ五三〇高度ニ至ル。進入セントスルモスコールノ爲進入シ得ズ半輪シテ南
 コリ入ランスルモ亦スコールナリヨハニ半輪シテ北方ニ向フモ亦進入出来ズ更ニ
 半輪シテ南方ヨリスコールヲ行テ強行進入スビアク島上空進入時刻一六〇。
 高度三九〇。求ムボシク沖ニ敵艦ヲ発見ス敵機ナシ一旋回シテ一六一。
 離脱ス高射砲ノ射撃ヲ受ケタルモ損害ナシ
 ビアク島攻撃要圖



進入一六〇

高射砲射撃ヲ受ク

五 陸軍關シ知得セル事項

ノ敵船團上空ニ敵機ヲ認メス

六 戦果及損害

ニ將來參考トナルキ事項

八 附衣 附録

兵器燃料脂油彈藥損耗表

飛行記 録

附表

兵器燃料脂油彈藥損耗表

飛行第三十四戰隊
昭和九年六月二日

備考	彈藥		脂油	燃料	一式戰闘機(三型)	種別	損耗(消費)数	摘要
	夕	機關砲彈	航空砲油	九一揮炭油	機	機	機	機
	彈(五〇座)			九九〇〇				
	個	發	立	立	機			

附錄

飛行第二十四戰隊飛行記錄

昭和十九年六月二日
エフマン飛行場

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

功績調査用

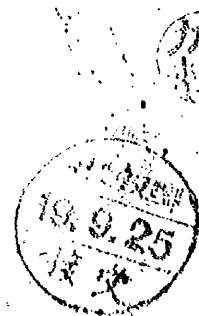
軍事機密

昭和十九年六月三日

印刷部数五部内七張

濠北航空撃滅戦
ビアク島進攻作戦
戦闘詳報(第五號)

飛行第二十四戦隊



一 戰鬥前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

ビアク島敵上陸部隊ハ五月三十日、陸軍部隊ノ夜襲ニ依リ東方海岸ニ压缩セラレアリ。敵機及敵艦ノ攻撃ハ依然熾烈ニシテ、オウイ島北岸ニ構築セル陣地ト相俟チ、ボスネク乃至飛行場海岸ヲ砲撃シアリ。

二 戰鬥ニ影響ヲ及シタル氣象

戰場上空晴雲量ハ五雲高ニ至リ、任務遂行ニ於テ雲層ニ依リ兵力分離シ協同戰鬥索敵困難ナリ。

三 戰鬥經過ノ概要

一 受領命令略

ニ 下達命令

飛四戰作命第十七號

飛行第二十四戰隊命令

一 ビアク島周邊制空状況ニ依リ再襲攻撃

六月二日ニマシ

ニ攻撃時刻ハ制空時間約ニ分

三ノ出發時刻ハ六四

口集合矣ハボ高度一〇〇〇ハ

ハ経路エフマンハホムミビアク

四艦爆六零戦ニ四バホ上空ニ集合揚子進攻

五歸還ビアクマククリコオルエフマンH四

六予ハ戦斗指揮所ニアリ

戦隊長 田代少佐

3. 掃組

丁小龍曹長

丁志峯伍長

丁中村伍長

丁丸山中尉

丁山内少尉

丁成田少尉

丁藤原少尉

丁奈良崎曹長

丁大平准尉

丁山本軍曹

丁表口軍曹

丁武川曹長

ヲ交戦セシ彼我ノ兵力

敵 駆逐艦 三 B4 五 P40 八

友軍一式戦闘機一〇 零戦三四 艦爆六

行動概要

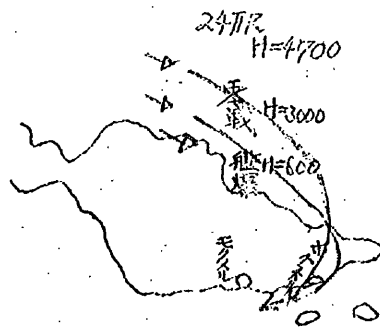
丸山中尉指揮スル一式戦闘機十二機ハ六四〇エフマン飛行場上空出發バ
ホ上空一〇〇米ニ於テ艦爆零式戦闘機ト集合完了ハニ堂々タル編隊ヲ
以テバボヲ出發戦場ニ向フ途中天候曇ニシテ航進稍困難ナリ。吉峯伍長ハ
進攻途中發動機故障ノタメバランギ附近ジヤンクル内ニ不時着ス藤原少
尉ハアク島直前ニテ飛行機故障ニシテ共ニ進攻スル能ハス單機ムニ歸
還セリ 丸山中尉ハ殘餘ヲ指揮シ更ニ前進一〇五H四五〇ヲ以テバク島ニ
空ニ進ハセリ

天候ハ晴雲量七五雲高五〇ナリ 艦爆掩護ニ為ル飛行中一〇ボスネク神上
空H四〇〇ニテ索進スルB4五機ヲ發見 丸山小隊前方攻撃ヲカケタルモ此時
敵ハ旋回シツアリテ攻撃徹底セズ戦果ヲ擧グルニ至ラス離脱セリ 第三小
隊ノ攻撃ニ効果ナク該攻撃ヲ各小隊ハ雲タム分離シ爾後集合シ得ズ第

三小隊長或四少尉ハ西進セル所ヲ攻撃セントシ之ヲ追跡セルモ追ヒツカズ攻撃
ヲ断念シ三小隊長断戦場ヲ離脱マシテ歸還セリ 第二小隊長又四攻撃後
分離シ且四ヲ見失ヒ攻撃隊長ヲ搜索セルモ發見シ得ズ一三三或戦場離
脱マシテ歸還セリ

丸山中尉ハ第三小隊長ノ先頭ヲ以テ前記四ニ前方攻撃ヲ指向シタルモ戦果ヲ得
スシテ離脱シ更ニ續行セントセルモ追ヒツカズ攻撃ヲ断念シ旋回ニテ雲層ニ
入り該雲層ヲ出テタル時四八機ニ上ヲヨリ攻撃ヲ受ク態勢全ク我ニ不利
ナリシモ各機共善ク奮戦シ丸山中尉ハ四一機ニ黒煙ヲ噴カシメタルモ終
為最後ヲ確認シ得ズ自機又受彈シ一四一オウイ島北方五軒ノ海ニ自
爆北烈ナル戦死ヲ遂グ小隊長ハハ四四機ニ取圍（機ニ黒煙ヲ噴
カシメタルモ亦受彈シ隊長ノ後ヲ追ヒテ一四二頃オウイ島北方海中ニ自爆セリ
小隊長ハ戦斗中ニ以上ノ目撃シ交戦セルモ一四三頃發動機ノ調トナリ
雲中ニ入りテ敵攻撃ヲ回避シヤード島附近ノ無人島ニ不時著八日海軍
機ニ救出サレタリ

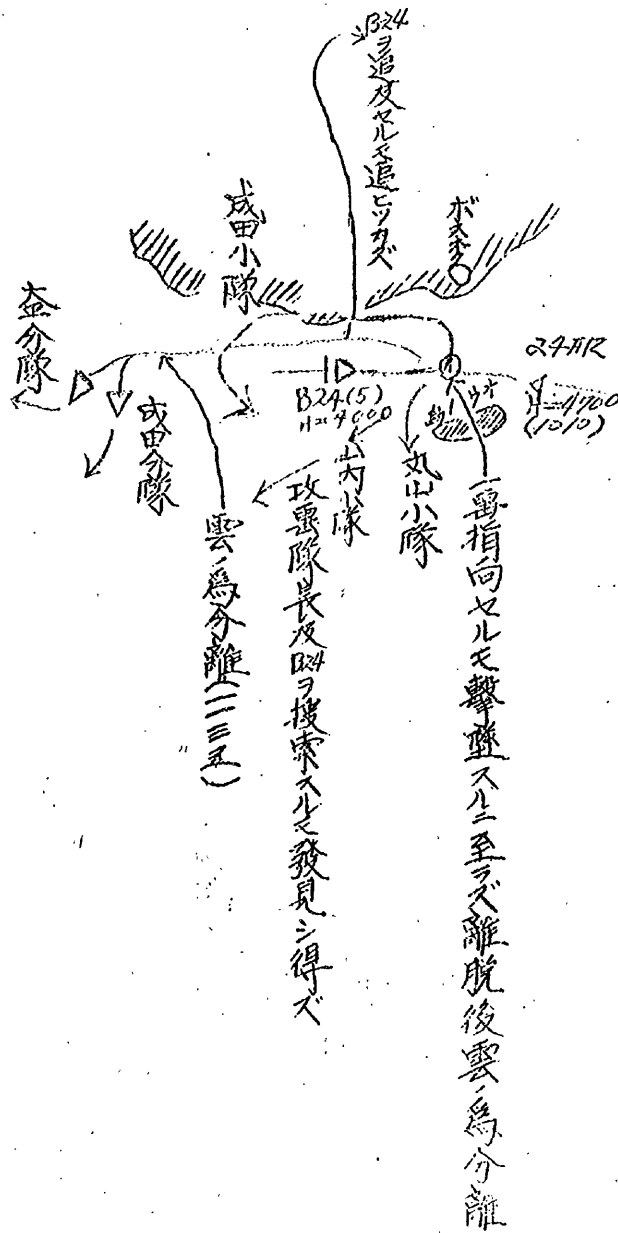
石臼嶺交通路に能勢



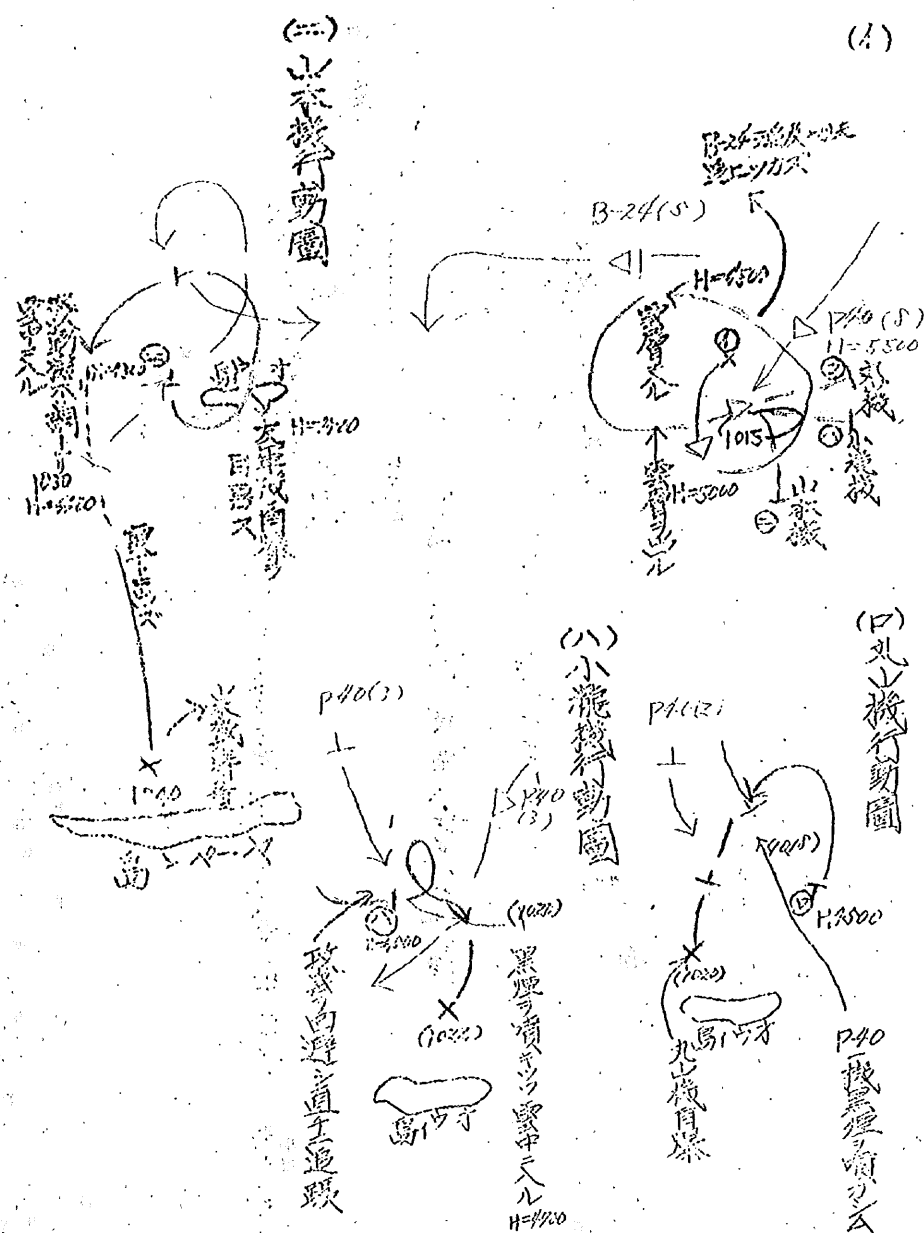
岩峰伍長ノ不時著一時絶望ト思ハレタルモ幸ニ附近ノ海軍部隊ニ救出サレタ
ボニ收容サレタリ
戦斗要圖左ノ如シ
ノ進入時ニ於ケル態勢

歸組

丁小滝曹長 丁表口曹長 丁中村伍長
丁北山中尉 丁山内少尉 丁成田少尉
丁山本軍曹 丁奈良野曹長 丁大平准尉
丁武川曹長



3. 丸山小隊南進行動



四 敵艦の沈没状況

イ ホスネノ附近舟艇十数隻接岸シアリ（敵ハビマク島ニ續々増援部隊ヲ送りテ

ルモノ推定セラル

エ 駆逐艦ハ三隻ヲ認め（内一隻ハ停止ニ隻ハ蛇行シアリ）

オ 他ニ艦船ヲ認めズ

五 戦果及損害

イ 戦果 P40ニ機撃破

エ 損害 飛行機 自爆ニ

大破ニ

ロ人 員戦死ニ

六 将来参考事項

攻撃時及攻撃後ノ隊形保持ハ絶対ナリ

七 附表附録

兵器燃料弾薬損耗表

エ 飛行記録

兵器燃料彈藥損耗表

六月三日

附表					
兵器燃料脂油彈藥損耗表					
飛行第卅四戰隊 六月三日					
備考	彈藥	彈藥	脂油	燃料	一式戰鬥機(三架)
	夕	機關砲彈	航空鈔油	九二彈發油	四機
	(五架)	二〇〇〇發	一四二立	九九〇〇立	廢棄衛隊司令部
					摘要

飛行第二十四戰隊飛行記錄

昭和十九年六月三日
工
フ
マン
飛行場

国立公文書館 アジア歴史資料センター

<http://www.jacar.go.jp>

功績調査用

軍事機密

昭和十九年六月四日

印刷部数十五部内七號

濠北航空撃滅戦
ビアク島進攻作戦
戦闘詳報(第六號)

飛行第二十四戦隊



一 戦前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

司領ノ報告ニ依レバ「ドルバイ」岬ニ敵輸送船群西進セアリ

戦中ニ影射音ヲ及シタル氣象

全航程快晴 索敵容易且我カ集結セル戦力ノ發揮ニ便ナリ

三 戦中経過行動ノ概要

イ 受領命令

第三空襲部隊信令作第一五號

(六月四日一三〇〇。發令エフマン)

日一六 索敵機ヨリノ報告ニ依レバ敵機動部隊(空母ニ隻戦艦ニ隻駆逐艦約百隻)ハ本日一三〇五「ドルヴィ」岬ノミ。度五五哩ヲ西進中ナリ

一 攻撃隊ハ準備完了次第發進空母ヲ撃滅スベシ

二 攻撃隊編成

二〇二部隊

零戦一九機 直掩隊

二四戦隊

一式戦一二機 遊撃隊

九〇三部隊

彗星 六機 爆撃隊

三 指揮官 池田 大尉

發第 三 空襲部隊指揮官 伊藤 良秋

以下達セル命令

飛三回戰作命第十三號

飛行第二十四戰隊命令

六月四日一三〇〇
エフ マン

一、エフ マン 東方ニ。料海上ニ敵輸送船群ヲ發見海軍ハ之ヲ攻撃ス

二、戰隊ハ海軍ニ協同進攻シ攻撃隊ノ掩護ニ任セントス

三、庄司大尉以下十二名ハ海軍攻撃隊ノ上空掩護(飛三回戰隊)ニ任ズベシ

四、行動予定ル如シ

一、發 進 一四〇〇

二、集合地矣 エフ マン 飛行場上空高度一〇〇〇

三、経 路 戰場直路

四、歸 還 ナビレールミールバボ

五、予ハ戰鬥指揮所ニ在リ

戦隊長

田代 五一

下達

口達

報告先

ZFP
0309

3. 出動編組

丁田中伍長

丁中村伍長

丁斎藤伍長

丁座口大尉

丁地中尉

丁小倉准尉

丁佐原少尉

丁大平准尉

丁西並曹長

丁杉原伍長

丁藤田伍長

丁新井曹長

4. 交戦セシ彼我の兵力

敵 B24 一機

友軍 一式戦手機 一二零戦一機 艦爆六

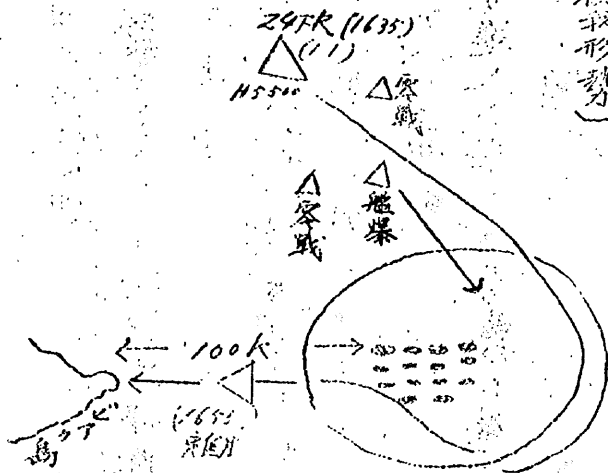
5. 行動ノ概要

一三五〇エフマシ離陸為軍攻撃隊ト集合一四一。艦爆六機零戦一機一式戦三機
直谷大尉可ヲ田中伍長ハコノクワリ神附近ヨリ酸素吸入器ヲ良ナル為單機

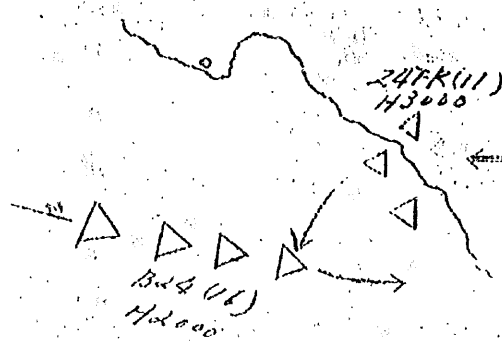
艦隊エフマンニ歸還著陸セリ

主力ハ「スネル」ビアク島ノ北ヲ経テ「文三」ビアク島東方一〇ノ新ノ岸上ニ西進ヘル戦艦四ヲ基幹トスル敵機動部隊ヲ發見艦爆之ヲ攻撃ス戦隊ハニ高度ニ五〇〇ニテ進入戦場上空ノ制空ニ任ズ敵戦車機ヲ發見セズニ〇分制空ノ後離脱ス歸還途中心「文三」ビアク島上空ニ於テ敵機一機ヲ發見一撃ヲ指向セルモ發見時機遅ク攻撃徹底セズ追撃ヲ断念夫々「マクワリ」ムニニ歸還ス

(一七五ニ於ケル敵機形勢)



(一七一ニ於ケル敵機形勢)



五、戦事後ニ於ケル彼我形勢ノ概要

吾カ上陸船團ヲ攻撃セントシタル敵機動部隊ノ企圖ヲ抛棄セシメタルモノト認ム
又敵ニ關シ知得セル事項

一、機動部隊上空ニハ戦機ヲ掩護少シニシテ尤索敵機報告ノ空母戦艦ハ大巡ノ誤ナリ
ニ、獲得セル戦果及損害 ナシ

ハ將來參考トナルベキ事項

一、大陽方向ヨリ進入シタル奇襲ヲ得タリ敵ハ吾カ初弾ニ依リ始メテ防空火器
ヲ使用機動部隊ハセリ

ニ、歸還時ト雖モ索敵ヲ怠ルベカラズ

九、附表 附録

兵器燃料消耗彈藥損耗表

飛行記録

附表

兵器燃料脂油彈藥損耗表

昭和十九年六月四日
飛行隊二四戰隊

備考	彈藥		脂油	燃料	一式戰鬥機二型	種類	損耗(消費)量	備
	夕	機關砲彈	航空機油	九一機油				
			四八〇發	一六〇	六〇〇〇			

飛行第二十四戰隊飛行記錄

飛
行
場

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp>

1241

功績調査用

軍事機密

昭和十九年六月八日

印刷部数十五部内七號

濠北航空撃滅戦
ビアク島進攻作戦
戦闘詳報(第七號)

飛行第二十四戦隊



一 戦前ニ於ケル彼我形勢概要

敵ハ續々ビアク島ニ増援部隊ヲ派シ上陸スルヲ斷次西方ニ移動シ我ガ陸軍部隊ハ後方
 遠断ヲ企圖スルト共ニ飛行場ヲ領スルビアク島則空ヲ一層完全ナラシメ一舉ニ
 之ヲ占領セントスルモノナリ

吾方ハ之ニ對シ増援部隊ヲ上陸セシメビアク島守備隊増援ヲ企圖シヤリ

作戦開始ハ八月ニ決定セラレタリ

船團行動豫定ハ如シ

〇三〇〇 ソン進發

〇九〇〇 A 兵 〇二ノ E

一六〇〇 B 兵 〇三ノ E

二一〇〇 ビアク島

戦隊ハ該機動部隊ヲ掩護シ命ゼラル

ニ戦艦ニ影響ヲ及レシムル氣象

同

二一〇〇

ビアノ島

陸急軍、掩護区分九ノ如シ

第一次

自一〇八〇〇
至一〇九三〇

海軍

第二次

自一〇九三〇
至一一〇〇〇

陸軍

第三次

自一一〇〇〇
至一一一三〇

陸軍

第四次

自一一一三〇
至一一二〇〇

海軍

第五次

自一一二〇〇
至一一三三〇

同

第六次

自一一三三〇
至一一四〇〇

同

二戦隊ハ左記計畫ニ依リ彈部隊掩護ニ任ズ

第二次

自一〇九三〇
至一一〇〇〇

丁松沢軍曹

丁成由少尉

丁大平准尉

丁川背長

丁山下准尉

丁表山軍曹

第三次

自一一〇〇〇
至一一一三〇

丁丹野仙長

丁表山軍曹

丁庄司大尉

丁佐原少尉

丁西並曹長

丁泰島崎曹長

丁新永軍曹

丁必根軍曹

第五次

自一四〇
至一五三

下齊藤伍長

下池上中尉

下石垣軍曹

下上座伍長

下藤原少尉

下藤井軍曹

三小隊長分隊長ハダ弾ヲ装備スベシ

四第五次掩護實施部隊ハマノクワリニ著陸明九日〇六〇〇〇文三〇〇聞

島附近ニ於テ該部隊掩護ニ任スベシ

五予ハ第一次ヲ指揮シ掩護ニ任ズ

戦隊長

田代少佐

下達法

下達

報告先

2FD
1385

又交戦セシ彼我兵力

敵 125 一七機

友軍 一式戦機九機

行動概要

(1) 戦隊長指揮スル第三次掩護隊(テ小隊七機)ハA地奥乃至A地奥ヨリ西ノ村ノ間
高度三五〇〇ノ四五〇〇ヲ以テ掩護ス敵ヲ發見セズ

(2) 庄司大尉ノ指揮スル第三次掩護隊(テ小隊四機)ハ第二次ニ引續キ高度
二〇〇〇ノ三〇〇〇ニ於テ掩護ス敵ヲ發見セズ

佐原小隊(奈良崎曹長)岩根重曹ハ始動困難ニシテ主力ヨリニ五分遅レテ離
陸(ハ)彈裝備不良爲第一小隊ニ遅レ目的地上空ニ至リタルモ庄司編隊ト
集合シ能ハス煙霧ノ下ニ一。ハ。北。南。海。上。高度三五〇〇ニテ
前進中ノ以テ機ヲ發見直チニ彈攻撃ヲ實施セルモ彈関カズ機關砲
故障爲一撃ノミテ離脱帰還ス

佐原小隊(奈良崎曹長)ハ始動困難爲離陸遅レ佐原小隊ヲ追及中一
〇〇ノワイベエハ南方ニ於テ以ニ機高度二〇〇〇ヲ以テ北進中ナルヲ發見前以方
攻撃ヲ三撃ヲ遠實施セルモ機關砲故障ニテ彈丸空ダズ攻撃ヲ断念帰還セリ
岩根機ハ發動機不調ニシテ遂ニ始動セズ

(3) 池上ハトノ村通過シ、ハトノ村に於て敵隊ハ小隊大機ハ掩護ニ進攻時一三三五又ル
 西北方五ノ海上高度五五〇ニテ西進シ、五機ヲ發見、藤原小隊後方
 接敵シ、彈攻撃ヲ實施セルモ効果ナク更ニ復讐攻撃セルモ敵ハ東方ニ高
 度ヲ下ゲシツ爆彈ヲ海上ニ投下シテ逃走セリ

上産機ハ攻撃中機關砲故障ニ爲單機、ワイベム附近ヨリ帰還セリ

藤原錫隊ハムブラン附近ニ於テ攻撃ヲ断念池上錫隊ヲ追及セルモ藤原機亦
 發動機不調トナリ藤井機ヲ追及セシメ單機帰還ス

池上小隊ハ所命地点ニ至リタルモ海上機動部隊ヲ發見スルヲ得ズ、銳意搜

索中一五三三マノクワリ村西ノ北東、南東ニテ東北進マノコンソリ

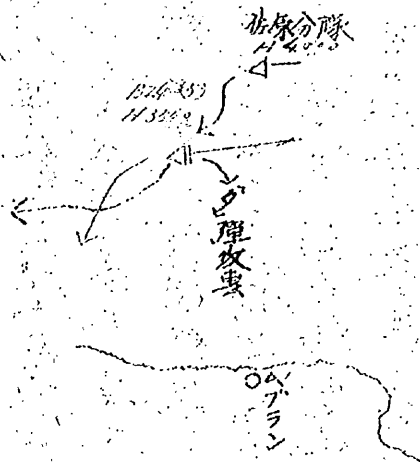
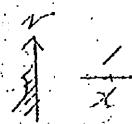
五機ヲ發見シ、彈攻撃ヲ實施スルモ成果ナシ敵機ハ東方ニ遁走ス

海上機動部隊ハ一三四五頃敵ノ攻撃ヲ受ケ北方スコールノ方向ニ回避シアリシ

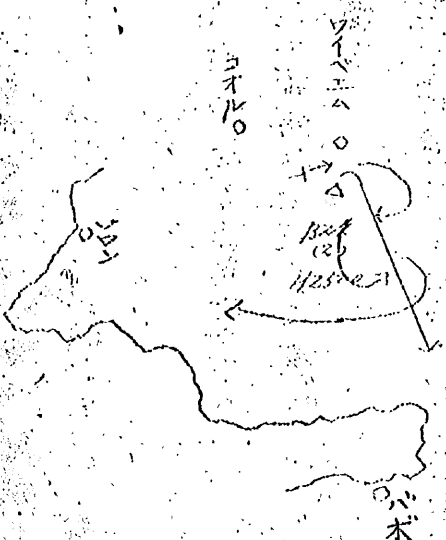
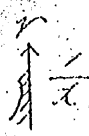
爲遂ニ發見スル能ハズ時間経過セルヲ以テ一五六ハミニ著陸ス

藤原小隊、藤井機ハコンソリヲ攻撃後マノクワリニ著陸、補給後直チニ離陸

マノクワリ西北方一三〇ノ地点ニ該機動部隊ヲ發見シ之ヲ掩護シタル後エフマン



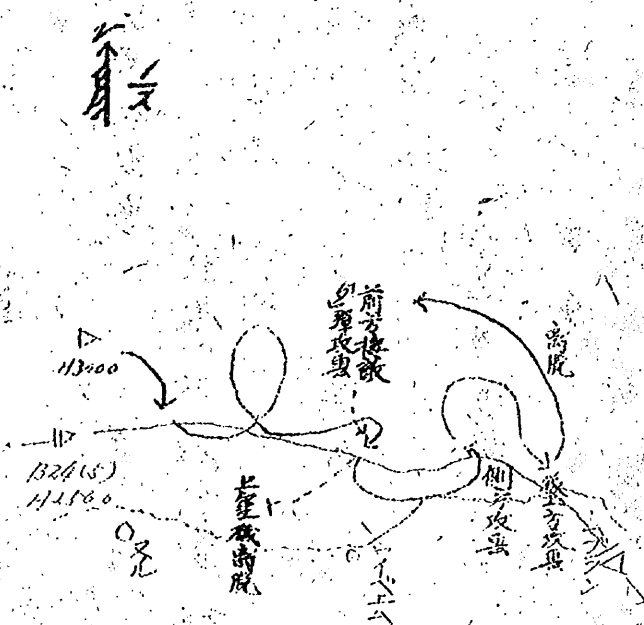
三島速着陸ス
 池上尉指揮スル三機ハ九月の五の夕マクワリ空發。ス。ヨリ。ス。ノ。開。マ。ジ。リ。
 島附近、搜索セル。機動部隊前夜ノ中ニハラオニ、避退シアリテ發見スルヲ
 得ス。ハ。ノ。エ。フ。マ。ン。ニ。歸。還。ス。
 佐原小隊ノ攻撃要圖



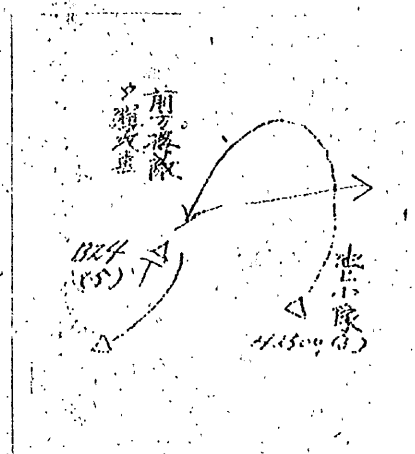
奈良崎機ノ攻撃要圖

要入

敵重爆が攻撃時黒煙或ハ白煙ヲ發シ偏動動作ヲ實施スルモノ如シ注意ヲ



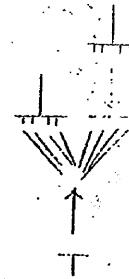
藤原小隊の攻撃要圖



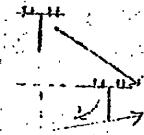
海上小隊
攻要圖

敵ハ攻撃ニ當リ小機動ヲ行フ一側尤ノ如シ

(1) 前方攻撃場合



(2) 側方攻撃場合



(3) 前方大器優勢ニシテ我カ離脱

時機首ヲ側方ニ向テ射要セリ

五 戦果及損害

戦果

藤原小隊ノ攻撃ニ相當ノ損害ヲ與ヘタルガ如キモ細部不明ナリ

損害

ナシ

六 將來參考トナルべき事項

一 附表 附録

兵器燃料脂油彈藥損耗表

二 飛行記録

附表

兵器燃料脂油彈藥損耗表

昭和十九年六月八日
飛行第三四戰隊

種	類	損耗(消費)	裝	摘	要
一式戰鬥機	二型				
燃料	九一揮發油	九一五〇	五		
脂油	航空機油	一八五	五		
彈藥	機銃用彈藥	一五〇	五		
備考	夕彈	三	個		

77

附録

飛行第三十四戦隊飛行記録

昭和十九年六月八日
エフマシ 飛行場

機										飛行機		乗務員		任務		天候		損傷		事項		備考	
機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機	機
7020	7071	7105	7016	6805	7075	6802	6892	6821	6896	7002	6813	7021	6827	6831	6827	6779	7014	7110	6763				
(150) 3000										(200) 3500										(シナ) 3500			
上座伍長	藤井重曹	藤原小尉	齊藤伍長	石垣重曹	池上中尉	表口重曹	奈良崎重曹	佐原小尉	丹野伍長	新木重曹	西並重曹	庄司大尉	池田伍長	石川重曹	成田小尉	山下伍長	松澤重曹	大平重曹	田代小佐	塔乗者			
護										掩										團			
										如左										戦中経過任務			
晴										晴										概			
2500										4000 ~ 3000										遂行行動			
1300										1015										概要			
1650	1650	1530		1625		1640	1620	1620		1615		1615		1615		1615		1615		要			
100	1605	1630		1605		1600	1600	1600		1600		1600		1600		1600		1600		天候			
																				損傷			
																				トナルベキ			
																				摘要			
送中引																							

1253

功績調査用

軍事機密

昭和十九年六月二日

濠北航空撃滅敵
バク島連攻作戦 戦闘詳報(第八號)

印刷部數主部内×號

飛行第二十四戰隊



一、戦前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

敵輸送船團ハ一日、アノ島モクメル附近ニ碇泊揚陸中ナリ

敵我、アノ島及其ノ周辺ニ對スル攻撃ハ依然熾烈ニシテ、友軍ノ陸上ヨリノ増

援ヲ阻ミアリ。又日敵水陸兩用戦車ハライニ上陸第三飛行場ニ侵入ス

飛行場亦敵手ニ歸シ、第三飛行場東端地区ハ堅固ナル陣地構築セラレ

ルナリ

我カ、アノ島守備隊ハ漸次西北ニ圧迫セラレアリ、海軍部隊ノ上陸ハ中止セラル

海軍第三空襲部隊ハモクメル附近ノ敵輸送船團ヲ攻撃スルニ決ス

二、戦中ニ影響ヲ及スル氣象

「アノ島」モクメル附近ハ快晴ニシテ雲量ニ雲高三五〇〇視度ニノ料ニシテ

極メテ良好我ガ艦爆ノ攻撃ニ絶好ノ天候ナリ

三、戦中経過行動ノ概要

一、反領メル命令

第三空襲部隊信令作第ニ四第ノ四（二一日二二〇〇發令）ニフマン

一、本日十九索宵戒機ヨリノ報告ニ依レバ敵輸送船團（輸送船十隻駆逐艦一隻）ハ。八五〇ヨリ一〇五〇ノ間、アノ島ヲソリ角ノ一〇〇度六〇理ニ停止中ニシテ、今晚、アノ島ヲ揚格ヲ開始スルモノ如シ

二、攻撃隊ハ明日十二日〇七三。迄ニ發進輸送船團ヲ撃滅スベシ但シ状況ニ依リ、第一目標ヲミテ、島揚格迄、敵陸地トス

三、攻撃隊編成

五〇三 攻撃隊

曹長

大尉

爆撃隊

二〇二

曹長

大尉

直撃隊

二〇四 戦隊

一〇戦

一〇戦

直撃隊

四指艦官

刺波

大尉

第三空襲部隊指揮官

伊藤

良秋

下達命令

飛攻隊命令第一

飛行隊二十四戦隊命令

六月十一日二二〇〇

一 敵輸送船團へ本十(四)バク島ニ旋回揚陸中ナリ

二 空襲部隊へ主カラ以テ明十二日。九。〇。ラ期シ攻撃ス

三 戦隊へ主カラ以テ二〇二空ノ上空ヲ掩護シ前項攻撃ニ参加ス

三 空動編組及行動予定ナシ

編組

下丹野伍長

下青藤伍長

下石垣伍長

下志根伍長

下正司大尉

下成田少尉

下佐原少尉

下北土中尉

下西並曹長

下大平准尉

下石川曹長

下藤原少尉

下藤井曹長

下奈良崎曹長

下表口曹長

下新本曹長

二 離陸開始。六四五

三 歸還飛行場。五フマン

四 予ハ戦斗指揮所ニ在リ

戦隊長

田代少佐

下連長

二 飛師ノ二三戦機

文部省 陸軍省 海軍省

敵

B4

三

P40

七

友軍 一式戦七(四六艦隊中) 零戦一四 艦爆六

行動ノ概要

左記大尉指揮スル一式戦七六機ハ十二日。文四五「エフマン」飛行場離陸。陸上機ハ飛行場上空ニ於テ艦爆零戦ト集合シ了リ。五機進空。艦翼ヲ連ネ「ア」島ニ前進。飛進途ニ於テ「ア」島下「シ」及「下」衣酸素吸入。不意「ア」島等故障。續テ十機ハ別送。カナルヲ得。サハ「ア」島下「シ」及「下」衣酸素吸入。地ニ中尉ハ残余ノ二機ヲ指揮シ飛進セリ。

九一〇「ア」島北方「下」島攻撃位置ニ止ム。九一五高度ハ「ア」島下「シ」及「下」衣酸素吸入。進入時「ア」島北方「下」島。

「下」新本竜曹

「下」表ノ壱曹

「下」池上中尉

「下」石川中尉

「下」藤原中尉

「下」西正曹長(稍進セリ)

艦爆ハ予選通りニ。ヲ以テ進入シタル附近ニ浮遊セル敵艦團ヲ攻撃ス
零式戦斗機ハ直接任務ニテ高度五〇〇。艦爆直上ニ占位シテ敵艦團上空ニ
ハ敵機ヲ認メズ

一艦過リ以テ攻撃手見テ。カニ離脱ス

西並艦長カ第一小隊司令ニ分隊長タリシ之ヲ大尉機關死不良ノ為引

送レル後石川小隊僚機トナルハ達ニ時稍遅。カニノ項。ホスヤク上空

ニ至リタル際。カニ機ノ攻撃ヲ受ケテ同遊セル。爾後ノ行動不明

石川小隊ハ小隊長機素發定不。カニ機同ニ戦場ヲ離脱シホスヤク附近

ヨリ直路ヲシテカニ機ニ向ヒテ一五番艦ス

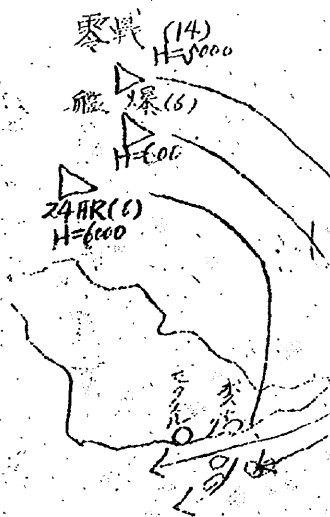
池上小隊(三機)ハ零戦ト共ニ。カニ機ノ島方何ニ離脱此ノ項ヨリ艦爆ハ西進セル

為零戦又池上小隊ト分離シ帰還途ニ。カニ機高西南方海ニ於テカニ機ノ攻

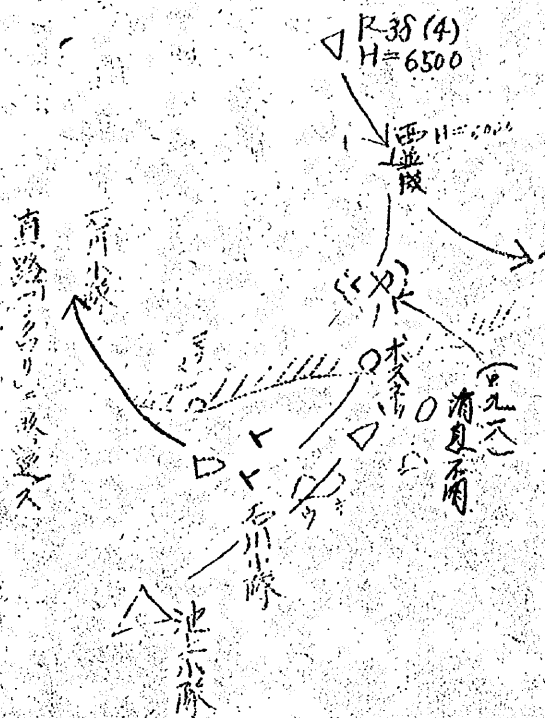
撃ヲ受ケ三機自爆ヲ遂ゲ

零三及池上小隊ハ敵機上遭遇。カニ機ヨリ一五番艦ス

進入齊、楚、魏、趙、燕、秦、六國。



遂時安圖九



奈良崎曹長ハ大平分隊僚機トシテ、アノ島ニ前進セルモ大平機メガ附近ニ
 於テ滑油系統不良ニ爲リ返ルニ隨行シ主力ト分隊ニ隨行中大平機
 エッマンヘ引返レ得ルヲ見主力追及ヲ決意シ單機ビアク島ニ航進ス
 。元ノ高度一五〇〇、戦場進入進入直前主力ヲ北方ニ發見セルモ又見失ヒ
 單機ガウエ上空ヲ制空中ゴリド附近高度一五〇〇ニテモクノル附近ノ敵
 船團ヲ遠望セル際北方ヨリP40機ニ後上ヲ攻撃シテ受ケ右ニ離脱シ其
 儘單機エッマンニ歸還セリ戦場離脱セル。

奈良崎機行動



四 敵ニ關シ知得タル事項

五 戦果及損害

戦果

損害

末歸還 一枚

(西基常長)

六 將來參考トナルベキ事項

急下ヲシ吸下及ノ際同ハ押木ノ交又其ヲ濕潤ニシテ結令新ノ果迄充分

ナラズ動搖ヨリ

北新

爲吸下狂ニタルモノニテ作製上注意ヲ要ス

七 附表附録

八 文藝雑誌脂粉聲等類誌

九 衆行 死 録

附表

兵器燃料消耗彈藥損耗表

飛行第四戦隊
六月十三日

備考	種類	損耗(消費)数	摘要
	一式戦闘機二型	一機	原隊機中より
	燃料 九二揮発油	九〇〇立	
	油 航空 分油	九〇立	
	弾 機関砲 弾	五〇〇發	
	夕 弾(五〇機)		

